


項目	外来	入院(月 日 時)	手術当日(月 日)手術前	手術後	3日目
達成目標		医師からの手術説明に対して理解・同意し、心身安定した状態で治療の準備をする		ペースメーカー植込み側の腕の安静を保つ 症状(疼痛、動悸、めまい)出現時はナースコールを押し看護師に伝える 創部に発赤、疼痛、腫脹、熱感がない ペースメーカーのパンフレットについて説明を受け、退院後の生活の注意点が理解できる	
治療・処置・検査・点滴	新規植込み時はバストバンドのサイズの測定をします。その後購入してください。 	心電図モニターを胸と肩につけます 	胸部の皮膚状態を観察します ()時に検査着に着替えてください ()時~点滴を行います 検査室に行く15分前に感染予防のために抗生剤も投与します ペースメーカー植込み予定側の腕に入れます 手術1時間前に尿道に管を入れます。 手術に行く前に入れ歯、めがね、指輪、時計などの金属類は外していきます 出棟直前に気持ちを落ち着かせる薬を肩に注射します	心電図モニターをつけます ペースメーカー植込み部をガーゼで圧迫しバストバンドを装着します お部屋に戻ったら、点滴は刺入部(針)を残して一旦中止します お部屋に戻り歩行状態を確認できたら尿道の管を抜きます 22時に抗生剤の点滴があります	抗生剤の点滴を1日2回(10時、22時)行います
	メトグルコ(糖尿病薬)を服用している場合、()日は中止となります	看護師に薬を預けてください。 医師の指示により内服薬を一部変更することがあります。	お薬は通常通り内服してください 糖尿病薬()は終日中止です		メトグルコ(糖尿病薬)を服用している場合、()日は中止となります。
	必要に応じて検査を行います。 	必要に応じて検査を行います。 	ペースメーカー(植え込み術・電池交換) ()時()分からです ご家族は()時頃にお越し下さい	ペースメーカー植込み後に検査があります。 レントゲン 心電図 	採血 
安静度		病院内であれば制限はありません 心電図モニターは病棟内でしか作動しません。病棟を離れる際はスタッフステーションへ必ず声をかけてください		薬の影響で眠い状態です。 トイレなどの歩行時は看護師が付き添います。 ペースメーカー新規植込み時:入院中は終日バストバンドを装着してください。バストバンドは自宅では昼間は外しても良いですが、眠る前には装着してください。退院後の最初の外来までは、ばんざいなど腕を大きく動かすのは避けてください 電池交換時:入院中は肩より下までなら動かしても構いません。退院後は特に上肢の安静に制限はありません	病棟内であれば制限ありません
食事		特に制限ありません。 疾患別の食事が始まります	(朝・昼)ごはんは食べられません 飲水は()時まで可能です (手術の2時間前まで) 	薬の影響でむせることがあります。 しっかりと覚醒したことを確認できたら飲食可能となります 	通常の食事です
清潔		感染予防のため入浴していただきます 		必要に応じて看護師が体拭き、着替えを介助します	入浴・シャワーは禁止です。体拭きを行います 洗髪は必要に応じて看護師が行います 
患者様及びご家族様への説明	(外来にて) 外来担当医より入院・治療について説明をします。 この説明用紙は入院時にお持ちください 新規植込み時は手術後使用するバストバンド(ペースメーカーの部分固定するバンド)を購入し入院時に持参して下さい ペースメーカー新規植え込みの患者様は、患者支援センターで身体障害者手帳の手続きの説明を聞いてください 入院中や退院後の生活について、心配なことがあれば相談してください 入院時、内服薬を約2週間分持参してください	主治医より検査・治療について入院時に説明があります。ご家族の方と一緒に聞いていただきます 看護師より検査について説明します 入院時、検温があります。症状があるとき(吐き気やめまいなど)は速やかにナースコールで教えてください 現在、日常生活で不安なことや気になる点がある場合に印をつけてください。 入院中に看護師が説明します。 (疾患・食事・運動・内服・入浴・睡眠・排泄)	家族の方は手術30分前から手術終了まで病室かエレベーター前の食堂でお待ちください 手術後主治医より説明があります 	新規植込み時はペースメーカーがしっかり固定されるまでは挿入側の腕を安静にする必要があります。日常生活での不自由や創部の痛みなど、困ったことがあれば遠慮せずにナースコールを押し看護師に伝えてください 	ペースメーカーパンフレットを使用し、看護師からペースメーカーについての説明があります。

項目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	退院
達成目標	ペースメーカー植込み側の腕の安静を保つ 症状(疼痛、動悸、めまい)出現時はナースコールを押し看護師に伝える 創部に発赤、疼痛、腫脹、熱感がない 自己検脈ができる ペースメーカーのパンフレットについて説明を受け、退院後の生活の注意点が理解できる			ペースメーカー挿入側の腕の安静を保つ 症状(疼痛、動悸、めまい)出現時はナースコールを押し看護師に伝える 創部に発赤、疼痛、腫脹、熱感がない 自己検脈ができる ペースメーカーのパンフレットについて説明を受け、退院後の生活の注意点が理解できる ペースメーカー手帳の取り扱いが言える		
治療・処置・検査・点滴	<p>メトグルコ(糖尿病薬)を服用している場合、()日は中止となります。</p> 	<p>採血 (新規植え込みのみ) レントゲン (新規植え込みのみ)</p> 			<p>主治医、業者の方によりペースメーカーチェックをします その後にバスタバンドが外れます 心電図検査を行います 検査後に心電図モニターを外します 創部のテープを剥がし創部の確認をします</p>	
安静度	病棟内であれば制限はありません				院内まで安静度が拡大すればお知らせします	
	ペースメーカー新規植込み時:入院中は終日バスタバンドを装着してください。バスタバンドは自宅では昼間は外しても良いですが、眠る前には装着してください。退院後の最初の外来までは、ばんざいなど腕を大きく動かすのは避けてください				バスタバンドが外れたら肩までは腕をあげることができます	
	電池交換時:入院中は肩より下までなら動かしても構いません。退院後は特に上肢の安静に制限はありません					
食事	通常の食事です					
清潔	入浴・シャワーは禁止です。体拭きを行います 洗髪は必要に応じて看護師が行います			シャワー浴ができます 創部を強くこすらないでください		
患者様及びご家族様への説明	ペースメーカーパンフレットを使用し、看護師からペースメーカーについての説明があります。 			ペースメーカーチェックの結果について、退院まで主治医より説明があります ペースメーカーチェック後に手帳をお渡しします。常に携帯してください。 病状やその他の理由により退院が延期となる可能性があります 		ペースメーカーチェックの結果について、退院まで主治医より説明があります ペースメーカーチェック後に手帳をお渡しします。常に携帯してください。 病状やその他の理由により退院が延期となる可能性があります